

## 研究実施のお知らせ

研究課題名: 低体温・熱中症患者のソーシャル・ハイリスク要因に関する研究

研究期間: 仙台市立病院倫理委員会承認後～2024年2月末日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月30日施行)に基づき、匿名化された既存試料・情報の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

- (1)2023年7月1日～同年9月末日に熱中症で来院された救急患者のうち、MSWが介入した症例。
- (2)2023年11月1日～2024年2月末日に低体温で来院された救急患者のうち、MSWが介入した症例。

### 【研究の目的と意義】

近年の救急搬送患者の特徴として、患者の社会背景が以前よりも複雑なものへと変化していると言われております。例えば、人口減少、急速に進む高齢化、後期高齢者の急増、家族形態、規模、機能の変化などが挙げられ、こうした社会的関係を築きにくい環境の中で生活を営んでいる人々が増えていくことが懸念されています。

低体温・熱中症による救急搬送は、病態の特性から生活環境因子や社会資源の活用状況が関与していると考えられており、本研究では、ソーシャル・ハイリスク要因の分析により、当地における地域性に関する評価を行い、MSWが介入することの意義を考察していきます。

### 【研究の方法】

電子診療録に記録されている患者基本情報と診断名、社会背景、退院先、活用した社会制度を分析します。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

- (1)患者基本情報  
年齢、性別、診断名、既往歴
- (2)ソーシャル・ハイリスク要因: 下記の11項目。
  - ① 独居・身寄りなし
  - ② 身元不明・キーパーソン不明
  - ③ 精神疾患
  - ④ 軽症だが帰宅困難
  - ⑤ 介護力不足
  - ⑥ 医療費の支払い困難
  - ⑦ 無保険
  - ⑧ 終末期
  - ⑨ ホームレス
  - ⑩ 家庭内暴力・虐待
  - ⑪ 劣悪な家屋環境 等

### 【研究の実施体制】

本研究は当院の単施設研究です。情報の管理、研究の総合的な管理は以下の人物が行います。

研究責任者: 仙台市立病院総合サポートセンター 澤井 彰

### 【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

研究責任者: 澤井 彰

仙台市立病院総合サポートセンター

〒982-8502 仙台市太白区あすと長町 1 丁目 1 番 1 号

電話: 022-308-7111

FAX: 022-308-7224

e-mail: sawai-aki@hospital.city.sendai.jp